

工科短期大学校及び技術専門校の現地視察について（報告）

1 日時：令和 8 年 2 月 17 日（火）

- (1) 長野技術専門校 13 時 00 分～ 出席：内川委員、大塚委員、竹村委員
 (2) 工科短期大学校 15 時 40 分～ 出席：浅井委員、内川委員、大塚委員

2 目的

県の職業能力開発施設の現状等の理解促進のため（今後の職業能力開発施設の役割等の議論）

3 実施内容

- (1) 学校概要説明
 (2) 校内（学科・訓練科）施設見学（技術専門校では一部訓練科において訓練生へのヒアリングを実施）
 (3) 意見交換

① 長野技術専門校（電気工事科、木造建築科、機械加工科）

委員からの主な御意見

- ・ 中学校卒業後に不登校となっていた者や通信制高校に通う者が訓練生となれるよう訓練生の募集範囲を中学校卒業以上にしたらどうか。
- ・ 名称が固い印象を抱くため、技術専門校のイメージを変えるようなことが必要では。
- ・ このような施設があるのに使い切れていないのはもったいない（指導員と訓練生の数がほぼ同数）。
- ・ 手に職がつくことをもっとアピールしたらどうか。
- ・ 指導が手厚いという印象を抱いた。
- ・ 指導員不足については、民間企業と連携してみてはどうか。製造業なら可能ではないか。



② 工科短期大学校（機械システム学科、システム制御学科、情報エレクトロニクス学科、知能情報システム学科）

委員からの主な御意見

- ・（他にも工科短大があるため難しいかもしれないが）県外からも入学生の獲得ができればいい。
- ・ 工科短大の存在を知らなかったが、見学して質の高さに驚いた。
- ・ 企業の社員教育の一環でリスクリングの場として活用できないか。
- ・ 四年制大学へ編入ができることは大きなメリット。学習内容も充実しており、学生も優秀。
- ・ 志願者数の減少が課題ということに驚くとともに、なぜ志願者数が少ないのか、PR の問題なのか疑問。
- ・ 授業料が低額であることも魅力。



参考：各校における魅力向上や PR 等の取組事例

情報発信

◆各校 HP を設けイベント情報等を発信

◆各校の紹介動画を「キャリアアップステーション NAGANO」で発信
[\(https://www.cus-nagano.jp/\)](https://www.cus-nagano.jp/)



◆SNS (X、Instagram) を活用し情報を発信



◆YouTube で学校を紹介

(例) 南信工短期大学校 (チャンネル)
<https://www.youtube.com/channel/UCdO5Z25xk9WgsyPpQCeu9uA>



◆各種メディアによる訓練内容等の紹介

(例) ・飯田で学び、飯田で働く若者を育てる～長野県飯田技術専門学校～
 (飯田市テレビ広報 令和 6 年 6 月放送)
 ・「木ノ漬け」の日々「職人の卵たち」が巣立つ (上松技術専門学校)
 (NBS 長野放送 令和 7 年 3 月放送)

◆パンフレットやチラシの送付

・県内高校、職業安定所、県関係機関、市町村等に送付

企業・学校等との連携

◆高等学校訪問、高校進路説明会参加

・各進路指導担当教諭に対して PR を実施

◆各職業安定所主催の高校進路担当者会議、離転職者対象の訓練セミナーへの参加

◆地域産業イベント等への参加

・諏訪圏工業メッセ (南信工短期大学校、岡谷技術専門学校)
 ・産業ミライフェス in UEDA (工科短期大学校)

◆地元企業・学校との連携協定

・工科短期大学校は佐久市の吉田工業(株)と教育・人材育成、研究開発、地域振興における連携協定を締結
 ・飯田短期大学・飯田コアカレッジ・長野県飯田技術専門学校は、三学包括連携協定を締結 (南信州ふるさと進学ガイダンス開催)

イベントへの参加・開催

◆「Honda エコマイルレッジチャレンジ」等のエコラン大会へ出場

・エコマイルレッジチャレンジ：1 リットルの燃料でどこまで行けるか、限界の突破に挑戦する速さではなく燃費性能を競い、自由な発想であらゆる可能性にチャレンジするモータースポーツのこと



◆製品の展示即売会の開催

・上松技術専門学校において、訓練生が製作した家具/小木工品の展示即売会「ひのきの里の技能祭」を開催



◆信州で暮らす働くフェアへの参加

[\(https://event.furusatokaiki.net/shinsyu-iju-fair2025/\)](https://event.furusatokaiki.net/shinsyu-iju-fair2025/)

体験・見学会の開催

◆校見学会や体験入校の実施



◆高等学校教員向け学校説明会を開催

・校の概要説明と講義・実習等の見学会を開催

◆在校生の就業体験機会の提供

・就職活動に活かすため、地元企業協力により在校生への就業体験を実施

◆学校に出向き、体験授業を実施

・木造建築分野の体験授業を中学校に出向き実施 (長野技術専門学校、松本技術専門学校、飯田技術専門学校)

◆小学生のものづくり体験教室の実施

・小学生がものづくりの楽しさを体験するとともに、自動車整備士や建築大工の仕事を理解する機会として、「KIDS ものづくりチャレンジ in 飯田技専」を開催



その他

工科短大から 4 年制大学への編入制度開始、信州 P-TECH の取組 (地元企業・高等学校・工科短大の連携による、ものづくり技術を有した DX 人材の育成)、経済的支援が必要な方への授業料等減免制度の実施 など